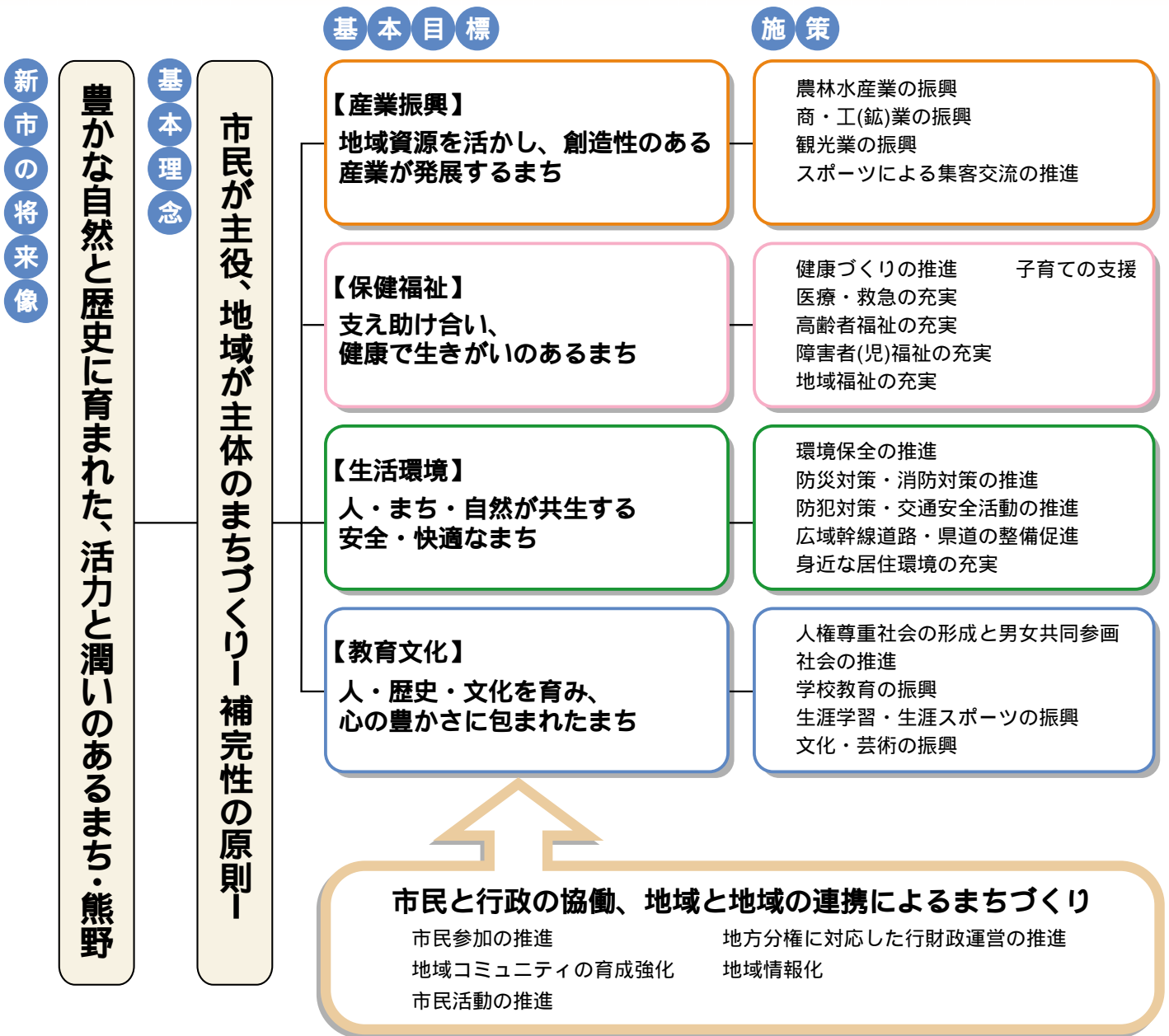
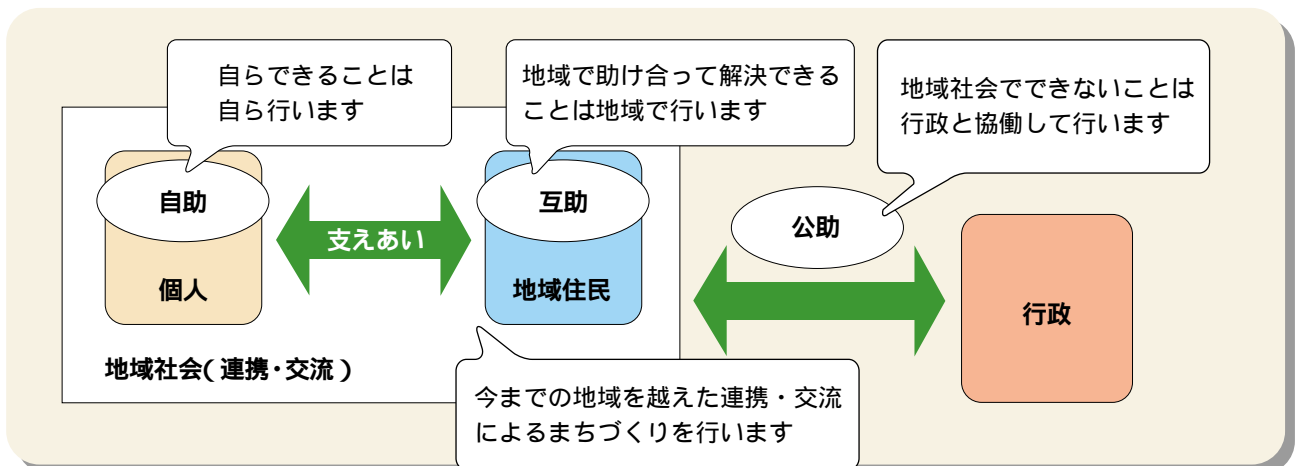


新市のまちづくり基本方針



新市のまちづくりを進めるにあたっての考え方です(補完性の原則)



たとえば、
熊野古道探訪、漁業体験、
丸山千枚田などを活用した農業体験、
熊野川・北山川・大又川の流域資源、
オートキャンプ場などの施設を連携させれば、
滞在して体験するメニューが
いっぱい考えられるし、
新たな働く場も確保できるね。



産業振興

地域資源を活かし、創造性のある産業が発展するまち

温暖な気候、豊かな自然や歴史・文化、海山の恵み、人材などの地域資源を活用し、他の地域に負けない高品質で独自性のあるものを生産する産業を振興します。

安定した農林水産業経営に向けての取り組みを行い、農林水産業を通じた新たな働く場の創出を図ります。

新産業等の新たな起業支援や観光がからむ形での商工業活動を展開し、購買力増加による働く場の創出を図ります。

滞在型体験観光により観光客の滞在期間を長くすることで、地域経済の活性化を図り働く場の創出を図ります。

各種スポーツの合宿、大会、研修会等を誘致し、スポーツ交流を通して地域経済の活性化を図ります。

主な事業

- 集落営農システム導入事業
- 農林水産物の高品質化事業
- 新規産業創出支援事業
- 滞在型体験観光事業
- 観光施設整備事業
- スポーツ施設整備事業



湯ノ口温泉・入鹿温泉を活用したら、
新たな健康づくり事業が考えられるよ。
温泉とウォーキングの
組み合わせなんかもいいね。

保健福祉

支え助け合い、健康で生きがいのあるまち

保健・医療・福祉をはじめ、まちづくりや生涯学習、産業などの分野と連携して健康づくりや福祉の充実に取り組み、健康で安心して、生きがいをもって暮らせる「健康長寿日本一」のまちを創りあげます。

「自らの健康は自らつくる」ことを基本に、予防に重点をおいた健康づくりを進めます。

適切な治療が安心して受けられる地域医療を推

進めます。

必要な保健福祉サービスを確保するとともに、地域で支え助け合い、自立を支える地域福祉のまちづくりを進めます。

安心して子どもを産み育てることのできる環境づくりを進めます。

主な事業

- 温泉を活用した健康づくり事業
- 保育所施設整備事業



生活環境

人・まち・自然が共生する 安全・快適なまち

潤いのある市民生活や産業の発展にとって、この地域の自然環境を守っていくことが大切です。

人と自然の共生を基本に、安全・快適に暮らせるまちづくりを進めます。

日常生活の中で、ごみの発生・排出の抑制、再利用、再資源化を促進するなど徹底したごみの減量化を推進します。

高い確率で予想されている「東海地震・東南海地震・南海地震」など大災害に備え、消防団の組織強化、自主防災組織の育成や未然防止のための基盤整備、広域幹線道路の整備促進などに取り組みます。

若者の定住促進や住む人が快適に暮らせるように、道路の整備、必要な公共交通(バス・鉄道)の確保、市街地・公園の整備、安定した水道の供給、住宅・宅地の整備促進など快適な生活環境づくりを進めます。

主な事業

- 自然環境保全事業
- 新たな地域防災計画策定事業
- 近畿自動車道紀勢線、熊野尾鷲道路の早期整備促進の要望
- 国道、県道の整備・改良促進の要望

教育文化

小・中学校の改築、文化交流センターの建設など教育文化の環境整備にも力を入れていくんだね。

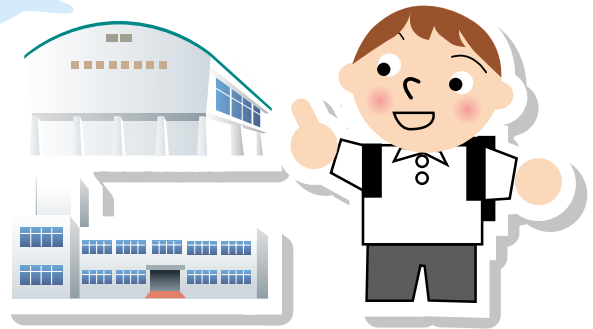
人・歴史・文化を育み、 心の豊かさに包まれたまち

この地域の特性や資源を生かし、教育、学習、スポーツ、文化活動などに取り組み、心豊かな人を育みます。

子どもたちの個性と豊かな人間性と生きる力を育む教育を進めるとともに、すべての市民が生涯にわたり、学習やスポーツ、芸術・文化、自然に親しみ、自己実現を果たしながら心豊かに生活できる文化的で魅力的な社会を実現します。

主な事業

- 小・中学校施設改築事業
- 文化交流センター(図書館・交流センター)整備事業
- 総合型地域スポーツクラブの育成・支援事業



まちづくりの進め方

市民と行政の協働、地域と地域の 連携によるまちづくり

地域のまちづくりに市民一人ひとりが主役となって参加・参画する、地域主体のまちづくりを進めます。

主な事業

- 地域まちづくり計画の策定と推進
- 効率的・効果的な行財政運営